

# Athlete Voice 入賞者の声

- Q1. 順位(優勝、入賞)が決まった瞬間のお気持ちをお聞かせください。
- Q2. 今大会(今シーズン)を戦うにあたって、日々の練習や生活で意識してきた部分(技術的、体力的、メンタル的、ゲン担ぎやルーティーンなど)を教えてください。
- Q3. 今大会の競技(試合)で一番良かった点、逆に悔しかった点を教えてください。
- Q4. 今大会期間中、競技(試合)以外で印象に残ったこと、嬉しかったことがあれば教えてください。
- Q5. 今後の目標や今後の競技生活の展望があれば教えてください。
- Q6. 未来ある岩手県の小中学生・高校生へ伝えたいことはありますか？
- Q7. 何でもご自由にお書きください。



## まつ づ しゅう た 松津秀太 選手

スケート競技  
成年男子スピード 1000m・1500m

- A1. 1500m は成年では初の優勝だったので嬉しかったのと同時に、とりあえず1種目優勝できてホッとしました。2日目に大和さんが500m 優勝して良い流れを作ってくれていたのその流れを繋げられて良かったと思いました。1000m ではリラックスしてレースに臨めたので冷静にレース運びができました。連覇もそうですが、かねてよりの目標であった2冠を狙って獲れたという達成感と充足感を強く感じました。
- A2. ダイエットとレース前日のカップラーメンです。しっかり減量してカップラーメンで栄養を入れることで身体が動く気がしました。
- A3. 当初想定していた作戦通り行かないイレギュラーが発生してもそれにしっかり対応できたことです。悔しかった点はリレーで決勝に残れずに3冠を取り逃がしたことです。
- A4. 温泉が気持ち良かったです。
- A5. ミラノコルティナオリンピックでメダル獲得
- A6. 自分の長所と短所を正しく認識して、長所を伸ばして短所を補う。この繰り返しです。ただがむしゃらに練習するのではなく、頭を使ってスマートに練習することが大事です。勝つ人はスケートが上手い人でもたくさん滑った人でもなく、最終的に速く滑った人の勝ちです。
- A7. 今年も岩手県の皆様のおかげで優勝することができました。多大なご支援、ご声援ありがとうございました。

## まつ い や ま と 松井大和 選手

スケート競技  
成年男子スピード 500m

- A1. 昨シーズンまで国体では勝つことができなかったので素直に勝って嬉しく思います。
- A2. フィジカル面ではトップアスリートも通う東京のジムに通い体の使い方を教えていただきました。トレーニング面では自分に合ったメニューを厳選して1人で行いました。テクニック面では今までの経験から早く滑るにはこうすればいいのではないかと考えて滑りを作りました。
- A3. よかった点は最後にちゃんとまくれたことです。悪かった点はそんなにありません。
- A4. 伊香保開催ということで温泉が良かったり、ご飯が美味しくてリフレッシュできました。また、普段の競技会よりもお祭り感がある国スポはやはり楽しかったです。いつも話さない関わりが少ないメンバーともコミュニケーションが取れて楽しかったです。
- A5. 来シーズンのオリンピックに出れるようにがんばります。
- A6. 多くのトップアスリートが生まれている場所なので先輩方の背中を追って頑張りたいです。真面目に頑張っていれば大人たちも力を貸してくれると思います。岩手のスポーツを盛り上げてください。
- A7. この度は取材していただきありがとうございました。岩手のスポーツ復興のためにあと少しですがお力になればいいなと思っています。今後ともスピードスケートをよろしくお願ひします。



こばやし たつ なお

**小林龍尚** 選手スキー競技  
成年男子A スペシャルジャンプ

A1. シンプルに嬉しかったです。

社会人初優勝ということもあり、最初は長いゲームの中だったのであまり実感はなかったのですが、時間が経っていく中でよく考えたら喜びでいっぱいになりました。

A2. 基本的には減量は欠かさず行っています。

今シーズンはアプローチのポジションに重きを置いていました。

A3. 今大会、飛距離ではトップにならなかったものの、ウインドファクター導入のおかげで勝つことができました。風があまり良くなかったおかげで減点が少なかったこと、そして飛型点が一番良かったとの評価をもらったことで勝てたことが嬉しかったです。

A4. 秋田県は小中高校時代によく練習に通っていたので、とても懐かしく思いました。

A5. 国スポで優勝できたことを自信にして、今後は国内戦での優勝が目標です。その後はワールドカップまで成り上がりたいです。

A6. 夢は必ず口に出してください。そして諦めずに継続してください。



おおぜきはる よ

**大堰喜代** 選手・**西舘陽里** 選手

おやまだりんか

かまいしちな

**小山田凜花** 選手・**釜石知奈** 選手スキー競技  
女子クロスカン트리 リレー

A1. 個人では入賞はできず、もちろん悔しさはありましたが自分の滑りができたので達成感がありました。リレーでは、2走の選手にいい形で繋ぐという強気な気持ちで滑りきり、ライバルの選手と競りながらタイム差もなく4位で繋ぐことができ、とても楽しく滑れました。

A2. まず、生活ではレースの為に日頃からストレッチなどのコンディショニングは欠かさず行っています。コンディショニングをやるかやらないかで翌日の体の動きが変わるので大切にしています。練習では自分は後半落ちてしまう事が課題なので、体力面と精神面を鍛えてきました。他にも課題が多くありますが、去年よりは確実に成長を感じます

A3. 良かった点は、全ての競技において調整や準備をしっかり行い自分の滑りができた事だと思います。私は負けず嫌いのタイプなので、リレーのようにライバルがいると闘争心が湧き前の人から絶対離れないという強い気持ちで滑りきれました。

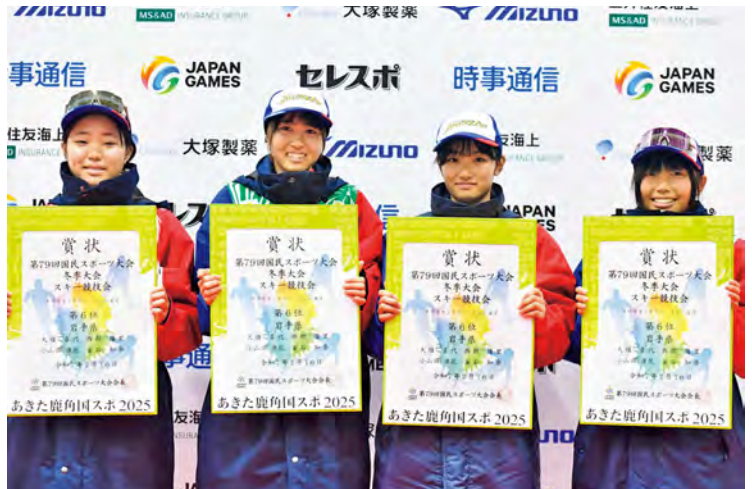
悔しかった点は、やはり入賞という形でサポート、応援してくださる方々に恩返しできなかった事です。スキーは個人競技ですが、沢山のサポートがあってこそスタートラインに立てるスポーツなので、やはり結果で恩返しできなかったことが悔しいので、残りの大会で恩返しできるよう頑張ります。

A4. 5km というコースで沢山の方々の声援が聞こえたことです。滑っている間、度切れることなく聞こえてきて、こんなにも沢山の方々が応援して頂いているのかと感動しました。本当に嬉しかったです。

A5. まずは、残りの大会を一つ一つ大事にして全力で自分の走りでも滑りきる事です。いつも万全な状態を保つことは厳しいですが、練習や体調管理をしっかり行い、悔いのないレースにできるよう楽しんで滑りきります！

A6. まず、どんなスポーツでも周りへの感謝を忘れないでください。周りのサポートがなければ絶対に競技はできません。そして競技を続ける中で、苦しい瞬間は誰にでもあります、ですが、そこで自分がどう考えるかで未来は必ず変わります。これは自分が成長する時だと受け入れ改めて考えるか、自分の力はここまでだと諦めるかで行動も気持ちにもそこで差がつきます。ですので、そういう瞬間が来たら、まずは1度立ち止まってしっかり自分の頭で考えてください、人の意見を聞くのも大切ですが、最終的には自分で決断し、行動するべきです。考え方で本当に変わります。必ずそれが未来に繋がります。能力がある子達は岩手県には沢山いると思いますので自信をもってスポーツを楽しんで行って欲しいです。

A7. これからも皆さんに喜んで貰える、感動してもらえるような滑りをしていきます。これからも応援よろしくお願ひ致します！



6位入賞した女子の(左から)大堰喜代、西舘陽里、  
小山田凜花、釜石知奈  
(岩手日報 2025年2月17日付)

# 国スポ オフショット






湖国の感動 未来へつなぐ



# わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会 2025年 9月28日(日)～10月 8日(水)  
 第24回全国障害者スポーツ大会 2025年10月25日(土)～10月27日(月)

# 2025



許可番号 わ輝滋実委第 88-1\_R7号